

## 248 体育会大会

〔『法学新報』第19卷11(226)号 明治42年12月1日〕

○体育会大会 中央大学及中央高等予備校合同体育会に於ては去る十月二十四日を以て剣道柔道の大会を開催し校庭に天幕を張り詰めて三千人を容るへき大席を急造し其中央に撃剣場を設け第三講堂を柔道場と為したり而して当日の選手は東京帝国大学、早稲田大学、慶応義塾、明治大学、東京高等師範学校、第一高等学校、高等商業学校、高等工業学校、東京外国語学校、東洋協会専門学校、東京美術学校、東京師範学校、講道館、有信館、附属中学校、独逸協会学校、錦城中学校等より出席し府下剣柔両道の諸名士及鈴木前師範、中山、半田、今泉の三師審判の任に当り午前九時より校内の紅白勝負を開始したり柔道にて紅組梶尾は白組遠藤の横捨身に敗れ遠藤は鈴田の上四方固に敗れ鈴田は山田の横四方固に敗れ山田は水永の腰投に敗れ中村代りて袈裟固に敗られ川崎代りて背負投に敗れ村尾代りて漸く水永を上四方固にて破りたるも福田の同手に敗れ福田は余語の

背負投に敗れ余語は清水の袈裟固に敗れ清水は沢田の表十字に敗れ沢田は唐沢の上四方固に敗れ唐沢は橋爪の支釣込足に敗れ橋爪は川口の足払に敗れ川口は大槻の突込に敗れ大槻は小田の大腰に敗れ小田は今井の大外刈に敗れ今井は松岡の浮腰に敗れ松岡は新藤の山嵐に敗れ新藤は江藤の横落に敗れ大久保代りて片手メに敗れ加藤代りて江藤を上四方固にて破り加藤は池辺の為に同手を以て破らる大平代りて大腰に敗れ三木代り池辺を袈裟固にて破り三木は綱沢の片手メに敗れ綱沢は大庭の為に体落にて破られ大庭は美原の四方固に敗れ美原は田代の巴投に敗れ織本代りて大外刈に敗れ屋代代りて田代を大内刈にて破り屋代は吉田の両手メに敗れ吉田は豊島の裸メに敗れ岩山代りて引分となる紅組伊達は白組の小野(康)と引分け萩原は山内と小野(庄)は竹之内と引分け白組副将宮田は森を大外返にて牛久を大外刈にて破り紅組大将大野に肉薄したりしか釣込腰に破られ是に於て白組大将津陣頭に頭はれ大野と奮戦したりしか勝負決せずして引分けとなり其成績は宮田進(一等賞) 田代信徳(二等賞) 二氏優等に決定したり

午後より他校選手との三本勝負に移り三木は明大の渡辺と引分け大庭は美術の芝山と一勝一負して引分け川合は高商の上野の足払に敗れ綱沢は外語の門屋を足払にて破り大平は明大の長谷川に足払及小内刈に破られ東師の三好は一高の山下に大外刈にて敗れ江藤は播磨の上四方固に敗れ小田は庄司の上四方固に敗れ栗田は東師の倉沢の大外刈に敗れ清水は明大の中尾を大外刈にて破り吉田と東協の木代とは一勝一負にて引分け加藤は沢田

の背負投に敗れ江淵は講道の富田と引分け附中の平山は講道の真山と引分け附中の吉武は講道の渡辺と引分け外語の丸尾は講道の渡辺と引分け織本は独協の相沢を背負投にて破り朝川は独協の軽部を大外刈にて破り豊島は金野を上四方固にて破り八重野は慶応の山本の内刈に敗れ山内は一高の飯島の内股にて破られ林は講道の山下と引分け田代は高商の瀬戸を巴投及大外刈にて破り萩原は花井を大外刈にて破り岩山は一高の松田と引分け竹之内は東協の村上の大外刈に敗れ独協の高木は附中の道家の腰投に敗れ小野は高工の貴島を跳腰にて破り宮田と錦中の坂本とは一勝一負にて引分け牛久と附中の片山とは痛み分けとなり夫れより山崎二段と国末二段との投の形、稲川二段と丹波二段と固の形、金野房氏と金野(大)氏と柔の形、村上三段と半田師と勝負法の形及五の形ありて有段者の勝負に入り独協辻初段は講道の貝塚初段の十文字固に敗れ大津初段は独協寺田初段と引分け独協浦井初段は講道の品田初段と引分け大野初段は外語の佐藤初段を出足払にて破り講道の品田初段は同石之初段を大外崩にて破り講道の新免二段と慶応の平岡二段と引分け講道の野田二段と高工の齊藤二段と引分け丹波二段は慶応の作川二段を大外刈にて破り稲川二段は美術の藤芳二段を足払及跳腰返にて破りて慶応の三段中野榮三郎氏に五人掛りあり稲川二段を残して丹波二段は足払にて喰留め其成績は丹波貫三(一等賞) 稲川二郎(二等賞) の二氏優等に決定したり会長伊藤理事の懇篤なる訓辞ありて後各優勝者に賞品を授与せらる

剣道も亦午前九時より矢沢、遠山二氏を両大将として校内の紅

白勝負を開始したり紅組の小野は白組の村尾、嶺岸を倒して唐沢の敗る所となり唐沢は池辺に破られ関代りて復た破れ松保代りて漸く池辺を破り今井代り復た敗れ遠藤代りて松保を倒し遠藤は兼光に破られ兼光は三浦に破られ三浦は伊達に破られ伊達は久保田に破られ久保田は吉原に破らる渡辺代りて復た破られ町野代りて漸く吉原を倒せしも宮地のために破られ宮地は宮田の破る所となり宮田は町田の破る所となり町田善く闘ひ荒木三富を破りて駒崎に敗れ駒崎は播磨に破らる播磨善く闘ひ五井、馬渡を破りて紅将矢沢に肉薄したりしか其一撃の下に敗れ上村、福田も亦其破る所となりて白将遠山陣頭に立ち奮戦せしも一勝一負遂に引分となり其成績上村憲三（一等賞）矢沢謙（二等賞）三浦知定（三等賞）の三氏優等に決定したり

午後より他校選手との三本勝負に入り宮田は有信の徳永を破り宮地は明大の安達に敗れ久保田は外語の内山に敗れ福田は錦中の高橋に敗れ遠藤は独協の麻生と引分け駒崎は錦中の山口を破り須賀は外語の海保を破り久保田は東師の尾内を破り荒木は独協の小田切に敗れ町野は美術の寺島に敗れ馬渡は東協の坂本を破り五井は慶応の高田に敗れ三富は高師の永井に面を得られしも面、胴を得て勝ち上村は美術の山岸の為に胴と面とを得られて敗れ有信の山本は東協の彌富の面を得て勝ち庄司は一高の小室と一勝一負小手を得て勝ち福田は東師の須賀田に面を得られ町田は高師の須賀と一勝一負遂に胴を得て勝ち有信の牧は高工の森に面を得られしも二回胴を切て之を倒し金矢は慶応の竜岡の面を得しも小手及二回目の突撃に倒れ有信の山本は高師の

植村に小手を打たれしも面、小手を得て勝ち番外馬渡（勝）対島田、宮田（勝）対宮地、和田（勝）対矢沢の三勝負あり次に播磨は早大の村上の為に胴を得られ高田は佐々の為に小手を切られ遠山は小島と一勝一負面を得て勝ち明大の福田と高工の中島とは負傷引分け尾内は渡辺の面を得て勝ち遠山は高師の藤井と一勝一負小手を得て勝ち水野は有信の桜井の小手を得て勝ち外来の山中は有信の群司に小手を得られしも面及胴を得て勝ち矢沢は早大の市原の為に胴を得られ水野は高師の藤井と戦ひ面及小手を得て勝ち是より一本抜きを挙行し其結果東師尾内繁蔵（一等賞）高師藤井文蔵（二等賞）の二氏優等に決定し中山師と伊藤、中山二氏の神道夢想流棒術、居合及根岸老先生と中山師の五加五の形教師諸氏の模範稽古等あり会長伊藤理事の訓辞ありて各優等者に賞品を授与して当日の勝負を了し夫れより一同に茶菓及ひ折詰の饗応あり食事終るや兼て準備の余興は開始せられ海老一の大神楽は滑稽頤を解き妙技幾たひか胆を寒からしめ木崎正道一派の剣舞数番四元義一は薩摩琵琶常陸丸及ひ旅順港を何れも喝采声裡に演了して茲に当日の余興を終へ一同体育会の万歳を唱へて散会したるは午後八時を過く